大田原市教育委員会教育長賞

未来に投資するお金

大田原市立金田北中学校

３年　髙野　紗由

私は、夏休みにアメリカへホームステイする。大田原市の姉妹都市であるウエストコビナへ行ってくる。大田原の代表として、全力で頑張っていきたいと思う。そして、全力で楽しみたいとも思っている。

もうアメリカが目と鼻の先にある中で、私はふと思った。「あれ。なんでアメリカに行くのに 22 万円しか払っていないんだろう。」私は、費用 22 万円でアメリカに行くことになっている。しかし、アメリカの滞在期間は８泊 10 日である。普通に考えたらあり得ない金額だ。破格すぎる。気になって先生に聞いてみた。すると、残りのお金は市の税金から出ていると教えていただいた。アメリカに旅行に行く場合、一人あたり 50 万円から 60 万円ほどかかるそうだ。私は驚いた。アメリカに行くお金の半分以上が、市民の皆さんの税金によって補われていることを知った。私が選ばれたのは、もちろん自分の頑張りもあるかもしれない。しかし、市民の皆さんが一生懸命働いて納めてくださった大切なお金を使って、自分の未来に投資をしてくれているんだなと思った。そして、そのお金を使って私のことをアメリカに送り出してくれるのだなと考えると、うれしいのと同時に、責任感もより一層強くなった気がする。

また、私はその他にも、アメリカに行くのに税金が使われているのではないかと思った。 私は、アメリカに行くためにパスポートを取りに行った。パスポートの値段を見た時、「え、高いな。」と思った。しかし、実際は違った。気になって調べてみると、私たちはパスポートを作るのに、税金を払っているのではなく、手数料を払っているそうだ。パスポートの冊子や、偽造を防ぐシステムなどが私たちの税金で支えられているらしい。だから、実際に個人が負担するのは手数料だけだそうだ。こんなことにも税金が使われていると知って、今までは「税金って何が良いの」と思っていたが、大切なものなんだなと思った。

私は、このアメリカへのホームステイを、将来につなげていけるようにしたいと思う。せっかくの皆さんの税金が無駄にならないように、活かしていきたい。例えば、ただ観光目的で行くのではなく、アメリカの税金の仕組みなども肌で感じてきたいと思う。アメリカは街によってかかる税金が違うそうだ。ポテトチップスの税金で裁判になることもあったそうだ。その他の日本とアメリカの税金の違いや、使い道などを現地で知ることができるようにしたい。そして、税金を使わせてもらうからには、現地の文化や生活を全力で学び、さらに成長して帰ってきたい。

この税金によって支えられている機会を無駄にせず、自分のものだけにせず、帰国後は学校や友達、地域の方にも広げたい。そして、自分が大人になったときには、しっかり税金を納め、子どもたちに、私がしてもらったように夢を応援したい。